

令和2年3月27日
記者発表資料

かなざわぶんこもんじょ
国宝「金沢文庫文書」のネット公開、はじまる

神奈川県立金沢文庫のデジタルアーカイブ、3月31日から公開開始

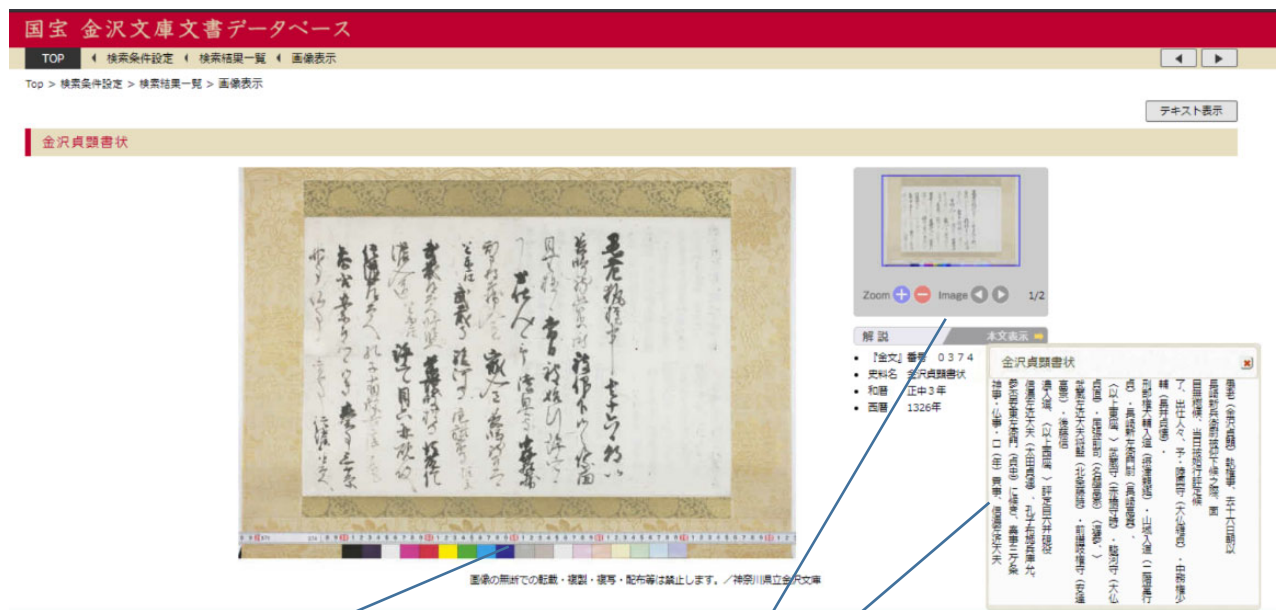
神奈川県立金沢文庫では、国宝「金沢文庫文書」(4,149点)のデジタルアーカイブ化に取り組んでいます。このたび500点の古文書の詳細情報を、高精細画像とともにインターネット公開いたします。わかりやすさを追求した機能を備えており、一般の方から研究者まで、幅広くお使いいただけます。金沢文庫からひろがる日本および東アジアの歴史と文化に触れてみてください。なお本事業は、多くの事業者・個人の協力を得て実現しました。

1 データベースの特徴

各画像には、古文書のくずし字を読めるよう本文を活字体にした翻刻データがついており、一般の方から研究者まで幅広くご利用いただけます。

検索機能を備えていますので、いつでもどこでも気になる古文書を閲覧することができます。

画面イメージ



高精細な画質

画像の拡大縮小が自由自在

くずし字学習に便利な翻刻を同時閲覧

2 データベースの概要

- ・公開内容 国宝「金沢文庫文書」の詳細情報ならびにデジタル画像の公開
- ・データベース名称 国宝 金沢文庫文書データベース
- ・公開 URL <https://www.kanazawabunko.pref.kanagawa.jp>
- ・公開開始日 令和2年3月31日(火曜日)より順次
- ・検索機能 年月日や人名、地名など、さまざまなキーワードから検索可能

3 国宝「金沢文庫文書」とは

所蔵と管理:称名寺(神奈川県横浜市)が所蔵し、神奈川県立金沢文庫が管理しています。平成28年(2016)、「称名寺聖教」16,692点とあわせて「称名寺聖教・金沢文庫文書」として国宝指定を受けました。

内容

鎌倉時代から南北朝時代を中心とする古文書群で、鎌倉幕府の中枢にあった、執権北条氏の一族である金沢北条氏と、その菩提寺である称名寺に関わるものが大半です。

鎌倉幕府の政治や外交、さらには当時の宗教・文化を生き生きと伝えており、モンゴル帝国に席捲されつつあった当時の東アジアの実情を物語る、世界的にも重要な資料群です。

昭和5年(1930)より90年もの間、神奈川県立金沢文庫で保管し、調査・研究を進めてまいりました。

4 今後の展望

全点にあたる約4,000点の公開に向けて、随時更新いたします。

5 協力事業者・個人

本事業は、次の事業者・個人の協力を得て行っております。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 真言律宗別格本山称名寺 | (以下五十音順) |
| 株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ) | 株式会社 JMC リスクソリューションズ |
| 株式会社セキュアブレイン | 京都 MIK |
| コネクト株式会社 | 総本山醍醐寺 |
| 佐藤亜莉華氏(日本女子大学大学院院生) | 角田朋彦氏(京都造形芸術大学講師) |
| 永井晋氏(関東学院大学国際文化学部客員教授、元金沢文庫主任学芸員) | |
| 永村眞氏(人間文化研究機構客員教授(情報部門長)、前金沢文庫長) | |
| 永山由里絵氏(品川区立品川歴史館学芸員) | 西弥生氏(種智院大学人文学部仏教学科講師) |
| 野村朋弘氏(京都造形芸術大学芸術学部准教授) | 藤井雅子氏(日本女子大学文学部准教授) |
| 山家浩樹氏(東京大学史料編纂所教授) | |

※取材については随時受け付けますので、次の問合せ先までご連絡ください。

問合せ先

神奈川県立金沢文庫
学芸課長 むこうざか 向坂 電話 045-701-9069(内線 103)